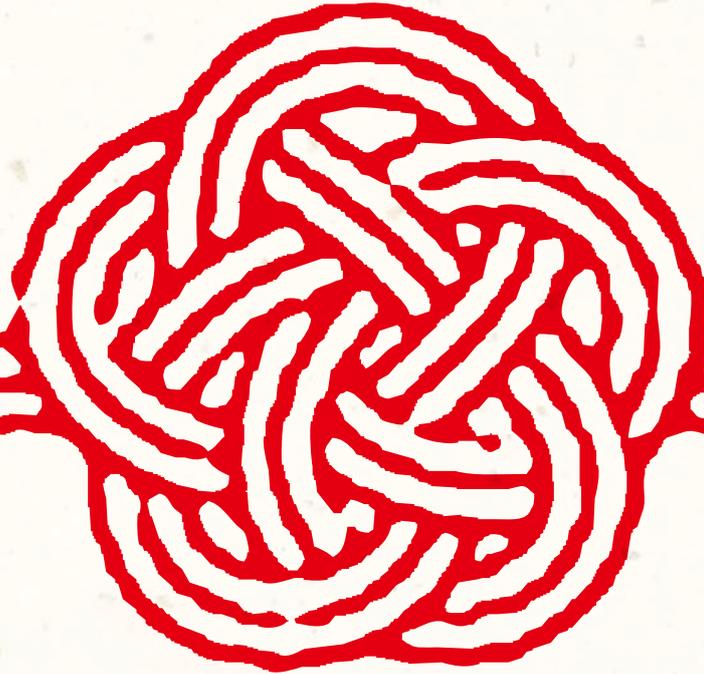


時をつなぐ悠久の音

羽咋高等学校

100
周年

羽ばたく未来へ



🐟 同窓会だより 🐟

Vol. 39

2022

感謝と期待そして未来へ

同窓会会長 轟 千栄子

いよいよ創立百周年の初夏を迎えました。春には193名の卒業生を送り、161名の新入生を迎える式に列席しました。私も50年前に袖を通した懐かしい制服姿は見納めとなり、すべての生徒が新しい制服で節目の年を迎えます。

同窓会では2月、3年生に羽咋神社でお祓いを受けた合格祈願のマスクを贈りました。そこには担任の先生がひとり一人の名前を書いてくださいました。また、教育委員会を通して市内の中学3年生に「羽咋高校前」のバスの標を模したマグネットを贈りました。今後は高校の体験入学や地区説明会の折に高校で同窓会からと中3生に渡していただくことになっていきます。校長先生を始め先生方とも危機感を共有しながら百周年を迎える伝統ある母校の存在感を地域や保護者に発信してまいります。

3月には羽咋駅の周辺整備にあたり、市内の高校に通学する生徒が安心して有効に時間を過ごせ、通学路にも配慮した計画の作成と高校支援のための「ふるさと納税」の新設を求める「将来を見据えた高校教育環境整備に関する要望書」を3校の高校の同窓会長と連名で羽咋市長に提出しました。すでに高校の定員割れの続く奥能登地区では市・町を挙げて高校への支援策を打ち出しています。私たちも同窓会や市が一体となって支える魅力ある羽咋高校でありたいと願っています。

創立百周年記念事業では同窓会事務局のある図書館棟（旧同窓会館）一階のリニューアルを行い、生徒たちに明るく快適な環境を整え、同窓会の資料展示室を新設します。同窓生に



とつても母校が近い存在になることを目指しています。リニューアル後は帰省した折りなどに気軽にお立ち寄りください。同窓生の集まりにも利用できるようになります。将来同窓生と在校生との交流の場となることも期待しています。特定寄付はこのリニューアルの費用となります。現在もう少し目標額に届いておりません。特定寄付の扱いは5月末までです。あらためてご協力をお願いいたします。

会長就任の時からのご念願であった在校生の経済的な支援のための「杜の鐘・未来基金」の正式名称が決まりました。「杜の鐘・未来基金」(つたい基金)とさせていただきます。杜の鐘は折口信夫先生が作詞された校歌の一節にあり、当時作詞の謝金を辞退されたそのお金で「杜の鐘」を寄贈されたことに由来します。現在も大切に保管されレプリカが校庭に設置されています。今は卒業式で単立つ3年生へのはなむけに一年に1度その音を聞くことができます。新型コロナウイルスの感染が続く中、記念式典や祝賀会に広くみなさまをお招きできないことを残念に心苦しく思っております。多くの寄付をお寄せいただいたみなさまの思いを受け止めしっかりと記念事業を成功させます。今後とも母校と同窓会へのご厚情をよろしくお願いいたします。

令和3年度 石川県立羽咋高等学校同窓会会計 予算書

1 一般会計 (令和3年6月1日～令和4年5月31日) (単位:円)

科目	予算額①	前年度予算額②	増減(△)額①-②	摘要
1 前年度繰越金	7,556,420	8,813,919	△ 1,257,499	
2 卒業生入会金	579,000	591,000	△ 12,000	3,000円×193人
3 卒業生終身会費	3,860,000	3,940,000	△ 80,000	20,000円×196人
4 運営協力金	0	6,000,000	△ 6,000,000	
5 基金会計利息	7,200	7,200	0	社債利息
6 雑収入	4,380	4,881	△ 501	預金利息等
合計	12,007,000	19,357,000	△ 7,350,000	

支出の部

科目	予算額①	前年度予算額②	増減(△)額①-②	摘要
1 本部総会関係費	50,000	50,000	0	総会費等
2 評議員関係費	30,000	30,000	0	役員会等
3 支部総会関係費	930,000	1,900,000	△ 970,000	支部助成等
4 同窓会だより費	2,300,000	2,300,000	0	同窓会だより作成等
5 ホームページ関係費	150,000	150,000	0	ホームページ管理費
6 教育振興費	500,000	1,000,000	△ 500,000	学校に対する支援
7 慶弔費	200,000	200,000	0	教職員転退職者餞別等
8 事務局関係費	2,010,000	2,270,000	△ 260,000	
9 基金会計への繰出金	0	2,000,000	△ 2,000,000	
10 予備費(次年度への繰越金)	5,837,000	9,457,000	△ 3,620,000	
合計	12,007,000	19,357,000	△ 7,350,000	

令和2年度 石川県立羽咋高等学校同窓会会計 決算書

1 一般会計 (令和2年6月1日～令和3年5月31日) (単位:円)

科目	予算額①	決算額②	増減(△)額②-①	摘要
1 前年度繰越金	8,813,919	8,813,919	0	
2 卒業生入会金	591,000	588,000	△ 3,000	3,000円×196人
3 卒業生終身会費	3,940,000	3,920,000	△ 20,000	20,000円×196人
4 運営協力金	6,000,000	1,162,000	△ 4,838,000	
5 基金会計利息	7,200	3,600	△ 3,600	社債利息
6 雑収入	4,881	4,561	△ 320	預金利息等
合計	19,357,000	14,492,080	△ 4,864,920	

支出の部

科目	予算額①	決算額②	増減(△)額②-①	摘要
1 本部総会関係費	50,000	49,891	△ 109	総会費
2 評議員関係費	30,000	0	△ 30,000	役員会等
3 支部総会関係費	1,900,000	1,706,710	△ 193,290	支部助成等
4 同窓会だより費	2,300,000	2,212,816	△ 87,184	同窓会だより印刷費等
5 ホームページ関係費	150,000	55,880	△ 94,120	ホームページ管理費
6 教育振興費	1,000,000	741,290	△ 258,710	カラープリンター等
7 慶弔費	200,000	143,264	△ 56,736	教職員転退職者餞別
8 事務局関係費	2,270,000	2,025,809	△ 244,191	
9 基金会計への繰出金	2,000,000	0	△ 2,000,000	100周年事業への積立
10 予備費	9,457,000	0	△ 9,457,000	
合計	19,357,000	6,935,660	△ 12,421,340	

収入 14,492,080円 支出 6,935,660円 差引残額(翌年度へ繰越) 7,556,420円

三校の同窓会が市に要望書を提出

3月25日。羽咋工業高等学校同窓会の河崎祐彦会長、羽松高等学校同窓会の西塔正樹会長。そして、轟千栄子会長が羽咋市役所を訪れ、岸市長（高25回）に高校の教育環境に関する要望書を手渡しました。

市内では、少子化の著しい進行とそれに伴う県立高校の小規模化という状況に加えて、2024年夏の開所を目指すJR羽咋駅周辺にぎわい交流拠点施設の整備が進行していることから、三人の同窓会長が連名でふるさと羽咋に必要な人材像や県立高校の今後のあり方について意見・要望したものです。

席上、岸市長からも羽咋駅利用の際の通学支援等の提案も出るなど、今後も高校魅力化の取り組みに関して、具体的な提案については対応していく考えが示されました。



市内の中学生に「羽咋高校前マグネット」寄贈

1月28日、同窓会役員4名が羽咋市役所を訪れ、北鉄バス停留所を模した「羽咋高校前マグネット」200個を轟会長から岸市長（高25回）に手渡しました。

マグネットはピタッと目的地につく縁起物。羽咋高校に行きたい中学生に届けてほしいとの願いが込められています。市では、市内の2中学校で羽咋高校受験を予定する3年生45人と全2年生約140人に配りたいとのことでした。



佐々波さん、母校に油絵を寄贈

洋画家で日展会友の佐々波啓子さん（高17回）より、2022（令和4）年に創立100周年を迎える母校に絵画を寄贈していただきました。100号の油絵で、題は「雲中供養菩薩より『日輪』」です。

10月15日、同窓会の轟千栄子会長と梅本浩照校長から感謝状を贈呈されました。



受験生に合格祈願マスク

2月9日、同窓会役員が母校を訪れ、受験を控える3年生193人に「合格祈願マスク」を贈りました。

マスクは、素材から縫製まで全て日本製の高性能フィルター不織布マスク。関東同窓会からの提案で初めての試みです。担任の先生が生徒一人ひとりの名前を書き、同窓会役員が願いを込めて袋詰めを行った後、地元の「羽咋神社」で合格祈願の祈祷を受けてきたものです。

校長室で轟千栄子会長が代表の生徒会元副会長二人にマスクを渡し、「心のこもったマスクで安心して受験して」と激励しました。



同窓会入会式

2月10日、同窓会入会式が行われ、193名の卒業生が新たに同窓会へ仲間入りしました。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、同窓会からの新住所登録用カード、合格祈願マスク、同窓会名簿の贈呈は各教室で行われ、轟千栄子会長は校内放送で歓迎の挨拶を行いました。轟会長からのメッセージ主旨は以下の通りです。

「同窓会は少しずつ変わっています。これからも皆さんと一緒に成長していきたいと思います。同窓会とつながっていくために新住所登録用カードのQRコードからログインして新しい連絡先を登録してください。そして、学校や後輩の方々に支援する側に立ちご協力下さい」



石川県立羽咋高等学校創立100周年記念企画展「ハマケンと羽高地歴部の発掘記」

このたび、母校地歴部の活動をふりかえる企画展が行われます。同窓会員の皆さまにおかれましては、ぜひご観覧くださいませようご案内申し上げます。

展示期間 令和4年9月1日（木曜日）～
令和4年10月10日（月・祝日）

展示場所 羽咋市歴史民俗資料館 2階展示室ロビー
（羽咋市鶴多町鶴多38-1）電話：0767-22-5998

開館時間 午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館料 無料 **休館日** 会期中は無休

主催 羽咋歴史民俗資料館 **後援** 羽咋高校同窓会

【ハマケンと地歴部（班）】

昭和26年。母校に赴任した濱岡賢太郎先生は創部間もない地歴部の顧問となりました。以降、同部は活発な部活動を長年にわたり展開することになります。昭和61年。毎日新聞に

掲載された「わが懐かしの恩師」には以下の文が載っており、当時の部活動の特徴が端的に表現されています。

「考古学の大家で、地歴班をつくり、生徒も先生も引きつれて全国行脚したのが“ハマケン”こと、濱岡賢太郎先生（社会・元校長）。太っ腹で、それでいてち密な人柄は、卒業生にはことのほか懐かしい」

文中、全国行脚とあるのは研修旅行や発掘調査のことだと思われま。生徒は濱岡先生とともに発掘調査に参加。地域史の記録に大きく貢献しました。今では考えられないことですが、高校生が遺跡保護の最前線に立っていたのです。部活動で学んだことを生かし、学校教員や行政の文化財保護担当など、地域研究の担い手となっていった生徒もいます。

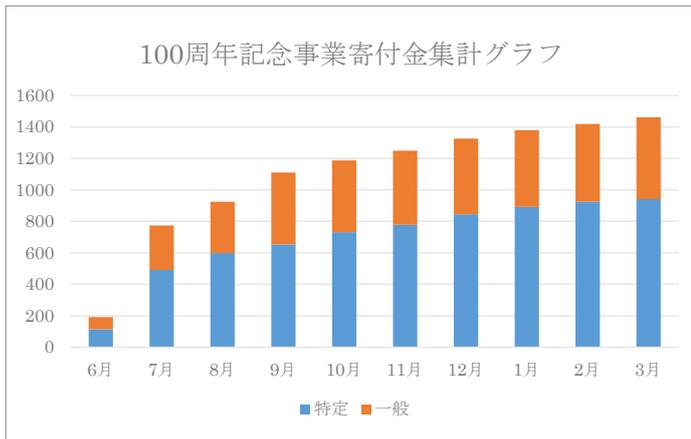


募金状況のご報告

母校創立100周年にあたり、同窓会会員の皆様におかれましては多大なるご芳志を賜り、誠にありがとうございます。令和4年3月末現在における第1期の募金状況は、総額1,466万円となっております。当面の目標である2,150万円まであと一歩というところまで到達することができました。心より厚く御礼申し上げます。

今日の厳しい経済状況のなか、皆様には大変なご辛苦をお掛けいたしますが、引き続き第2期募金のお願いをさせていただいております。重ねてのお願いとなり、たいへん恐縮ではございますが、さらなるご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

石川県立羽咋高等学校創立100周年記念事業実行委員会
実行委員長 轟 千栄子



第2期募金のお願い

- 募金目的** 100周年記念事業
(母校教育活動支援および100周年記念事業費用)
 - 募金金額** 一口 5,000円以上
「多数口歓迎、目標金額 700万円」
 - 募集期間** 2022年5月～2022年10月
 - 納入方法** 今回の「同窓会だより」に同封の振込用紙にて、お近くの郵便局またはコンビニよりお振込みください。
- ※付記1 なお、第2期の募金は、一般寄付のみです。寄付金控除の対象にはなりません。ご了承願います。また、締め切り後のご寄附は、ご連絡の上、運営協力金への入金に振替させていただきます。
- ※付記2 税控除(税制優遇)の対象となる特定寄附は第1期(令和3年6月1日～令和4年5月31日)のみです。第1期分は本年5月末で募集を締め切りいたしますので、締め切り後の特定寄附口座へのご寄附は、ご連絡の上、一般寄附に振替させていただきます。

(仮称)杜の鐘ホール リニューアルオープン お披露目会開催のお知らせ

改修工事を終えた図書館棟一階ホールがリニューアルオープンします。

つきましては、新装なったホールをご覧いただくお披露目会を下記の通り開催いたします。

(仮称)杜の鐘ホールお披露目会

日時:2022年6月26日(日)

①10:00～11:00(9:45～受付)

②11:00～12:00(10:45～受付)

会場:石川県立羽咋高等学校・図書館棟
1階ホール

問い合わせ:0767-22-1422

メールアドレス info@uko-dosokai.net

入場無料(各回先着20名)

どなたでも無料でご参加いただけます。皆さまのお越しをお待ちしております。

本部総会のお知らせ

平成4年度の通常総会を下記のとおり開催いたしますが、感染予防に留意して出席者が多い場合は人数制限させていただくことをご理解・ご了承ください。

本部総会

日時:2022年6月26日(日)受付12:30～

会場:コスモアイル羽咋・研修室(羽咋市鶴多町免田25 TEL:0767-22-9888)

総会 13:00～14:30

議題:決算報告、予算・事業計画ほか

申込み:総会に出席いただける方は事務局までお名前、ご連絡先をお知らせください。

準備の都合上、6月20日までにお申し込みください。

事務局:0767-22-1422

メールアドレス info@uko-dosokai.net

物故者追悼法要

日時:2022年6月26日(日)15:00～

会場:栄通寺(羽咋市南中央町キ108)

*役員、関係者で執り行います。

創立100周年記念式典 ・講演会・祝賀会

創立100周年記念式典

日時:2022年10月8日(土)10:00～11:00

会場:コスモアイル羽咋

創立100周年記念講演会

日時:2022年10月8日(土)11:10～12:10

会場:コスモアイル羽咋

演題:人類の進化と文化からコロナ後の社会に未来可能性を考える

講師:山極壽一(やまぎわ・じゅいち)氏

講師プロフィール

1952(昭和27)年、東京都生れ。人類学者、霊長類学者にしてゴリラ研究の第一人者。京都大学理学部卒、同大学院で博士号取得。京都大学霊長類研究所などを経て同大学教授、前京都大学総長。2021(令和3)年より総合地球環境学研究所所長。著書に『森の巨人』(歩書房、1983年)ほか多数。

創立100周年記念祝賀会

日時:2022年10月8日(土)13:00～

会場:能登ロイヤルホテル/ロイヤルホール(志賀町矢蔵谷ラ-1)

*式典、祝賀会の出席は新型コロナ感染予防に配慮し招待状をお送りさせていただいた方に限定させていただきます。

今後の行事予定 (3月25日現在)

令和4年

7月 志賀羽松会総会予定

9月24日(土)関東同窓会総会 アルカディア市ヶ谷+ZOOM 13時～16時

10月15日(土)関西支部総会 大阪キャッスルホテル 11:30～

10月29日(土)東海支部総会 ホテルルブラ王山 12:15～

令和5年

2月18日(土)河北支部総会 河北亭

*なお、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては本部および各支部総会の開催内容が変更される可能性もありますのでご了承ください。

羽咋高校『百年史』 申し込みのご案内

創立100周年記念事業の一環として記念誌『百年史』の編集に取り組んでいます。同窓会では、これを機にできるだけ多くの同窓生の皆様にご購入頂きますよう、本の内容は同じで製本のコストを抑えた『百年史』簡易版を部数限定で制作します。購入を希望される方は同窓会事務局までご連絡ください。

販売価格 5,000円

(送料、振替手数料含む)

内容 A4判サイズ 上質紙 350頁

申込期間 7月1日(金)～10月28日(金)

発刊予定 2022年7月

申込み 事務局:

TEL・FAX0767-22-1422

メールアドレス info@uko-dosokai.net

駒井 憲一	近藤加代子	鈴木 朝子	浜下 浩一	佐々波栄子	中尾紀代美	【高33回】	坂本 靖	川崎 洋	富田美枝子	谷内 智範	【高65回】	旧職員
高下 良博	谷内 寿美	林 仁見	浜辺 和彦	油井 智子	岩網由起子	油谷 邦久	竹中 健	浜坂 浩幸	石井 優子	米沢 悟史	岩網健太郎	今村 龍夫
中川 素宗	川岸 典子	仁木千恵子	番匠 久雄	田辺 英里	田辺 英子	北谷 公英	西尾 豊	松本 宝	所司 敦子	杉本真智子	岩網 和也	高田 七郎
西 正樹	西多佐和子	毛利 朋子	髭石近義則	井表 巴美	井表 久代	大山 久祥	松田 敏広	立見 春江	山上 理恵	福田 悠人	【高66回】	表 文廣
西 正紀	櫻井美枝子	中村由喜子	藤本 慎治	藤本 慎治	今井 克也	北野 浩和	山崎 博之	大西由紀子	山本美由記	【高51回】	猪股 恒志	清水 勇
大矢 豊	高崎美智代	大濱 典子	堀内 浩一	堀内 浩一	今井 克也	楠 勝浩	山崎 博之	前谷 晴美	山本美由記	近岡 宏介	【高52回】	平野 道雄
藤谷 龍哉	杉本 悦子	中野 敬子	宮崎 芳信	宮崎 芳信	今井 克也	小浦 洋一	米澤 喜一	川村 洋子	稲荷 淳	平野 憲一	【高53回】	重藤恵衣子
藤丸 幸一	杉本 悦子	田屋 秀子	三嶋 達也	三嶋 達也	今井 克也	白江 良太	岸野 美佳	早川 由美	坂下 浩之	斎藤 恵美	【高54回】	城之前 翼
三宅 久恒	杉本 悦子	小川ゆき美	村田 政弘	村田 政弘	今井 克也	田島 正宏	野形 薫	早川 由美	坂下 浩之	斎藤 恵美	【高55回】	砂山 邦和
【高25回】	浅野 満	中山 恵子	山辺 哲夫	山辺 哲夫	今井 克也	真垣 定夫	関 祐子	早川 由美	坂下 浩之	斎藤 恵美	【高56回】	近岡 圭祐
【高26回】	梅 幸彦	作本 祐子	南 典子	南 典子	今井 克也	松井 純司	狭間 和美	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高57回】	近岡 圭祐
【高27回】	大沢 一裕	池田 幹隆	鹿渡 真砂	鹿渡 真砂	今井 克也	村井 良一	藤田 京子	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高58回】	高松 誠
【高28回】	大野 高史	池田 幹隆	森山 道代	森山 道代	今井 克也	室田 栄一	山口 智子	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高59回】	高松 誠
【高29回】	紙谷 衛	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	山口 文彦	上田奈津子	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高60回】	高松 誠
【高30回】	加茂野 忍	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	高井 章子	加茂野 享	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高61回】	高松 誠
【高31回】	市村 直登	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	向井 潔代	川田 幹夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高62回】	高松 誠
【高32回】	稲本 清志	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	藤本 裕子	小泉 勝	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高63回】	高松 誠
【高33回】	備後 克則	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高64回】	高松 誠
【高34回】	水元 和美	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高65回】	高松 誠
【高35回】	平 美都江	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高66回】	高松 誠
【高36回】	竹本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高67回】	高松 誠
【高37回】	宮島 一豊	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高68回】	高松 誠
【高38回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高69回】	高松 誠
【高39回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高70回】	高松 誠
【高40回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高71回】	高松 誠
【高41回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高72回】	高松 誠
【高42回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高73回】	高松 誠
【高43回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高74回】	高松 誠
【高44回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高75回】	高松 誠
【高45回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高76回】	高松 誠
【高46回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高77回】	高松 誠
【高47回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高78回】	高松 誠
【高48回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高79回】	高松 誠
【高49回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高80回】	高松 誠
【高50回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高81回】	高松 誠
【高51回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高82回】	高松 誠
【高52回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高83回】	高松 誠
【高53回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高84回】	高松 誠
【高54回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高85回】	高松 誠
【高55回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高86回】	高松 誠
【高56回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高87回】	高松 誠
【高57回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高88回】	高松 誠
【高58回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高89回】	高松 誠
【高59回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高90回】	高松 誠
【高60回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高91回】	高松 誠
【高61回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高92回】	高松 誠
【高62回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高93回】	高松 誠
【高63回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高94回】	高松 誠
【高64回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高95回】	高松 誠
【高65回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高96回】	高松 誠
【高66回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高97回】	高松 誠
【高67回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高98回】	高松 誠
【高68回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高99回】	高松 誠
【高69回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高100回】	高松 誠
【高70回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高101回】	高松 誠
【高71回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高102回】	高松 誠
【高72回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高103回】	高松 誠
【高73回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高104回】	高松 誠
【高74回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高105回】	高松 誠
【高75回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高106回】	高松 誠
【高76回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高107回】	高松 誠
【高77回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高108回】	高松 誠
【高78回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高109回】	高松 誠
【高79回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高110回】	高松 誠
【高80回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高111回】	高松 誠
【高81回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高112回】	高松 誠
【高82回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高113回】	高松 誠
【高83回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高114回】	高松 誠
【高84回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高115回】	高松 誠
【高85回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高116回】	高松 誠
【高86回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高117回】	高松 誠
【高87回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高118回】	高松 誠
【高88回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高119回】	高松 誠
【高89回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高120回】	高松 誠
【高90回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高121回】	高松 誠
【高91回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高122回】	高松 誠
【高92回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高123回】	高松 誠
【高93回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高124回】	高松 誠
【高94回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高125回】	高松 誠
【高95回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高126回】	高松 誠
【高96回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和	【高127回】	高松 誠
【高97回】	宮本 重久	池田 幹隆	遠藤千恵美	遠藤千恵美	今井 克也	宮本 重久	花島 康夫	北山 泰正	谷内 政則	北濱 直和		

